



若葉保育園

入園のしおり

令和6年度



社会福祉法人 財団若葉会

児童憲章

児童は人として尊ばれる
児童は社会の一員として重んぜられる
児童はよい環境の中で育てられる

園歌

作詞 泉田哲彦 作曲 小谷 肇

1. キンコンカンコン鐘が鳴る

うでをまげてる伸ばしてる

伸ばし小よしでいち、に、さん

みんな、みんな元気な若葉の子

若葉、若葉保育園

2. ニコニコお日様笑ってる

お歌うたって踊りましょう

伸ばし小よしでラッタラッタラー

みんな、みんなニコニコ若葉の子

若葉、若葉保育園

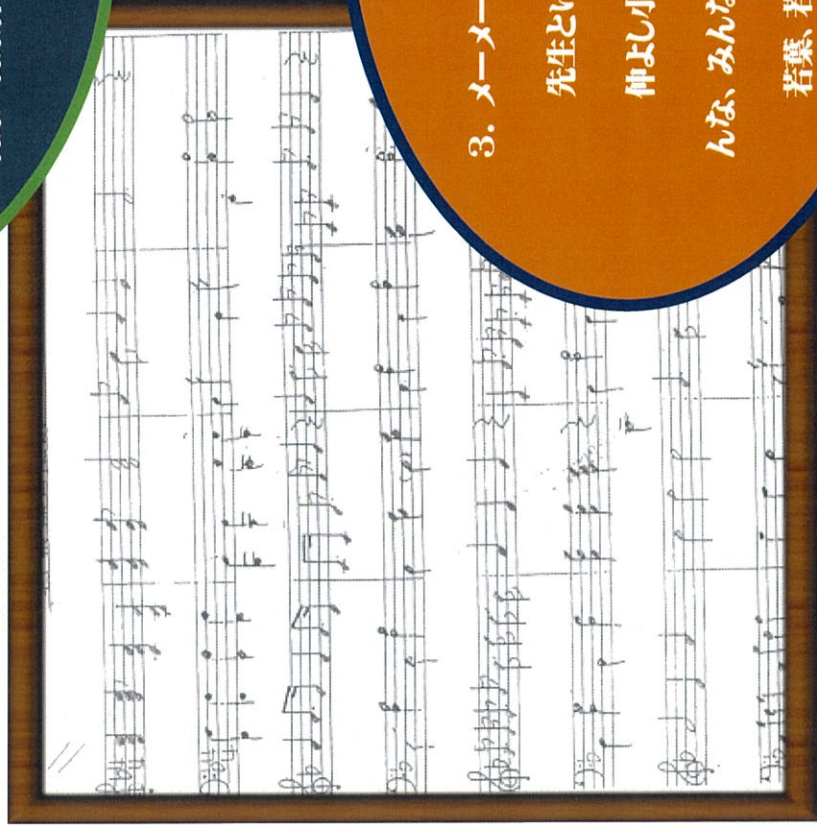
3. メーメー小山羊は丘の上

先生といっぱい絵をかいて

伸ばし小よしでサラッサラッサラー

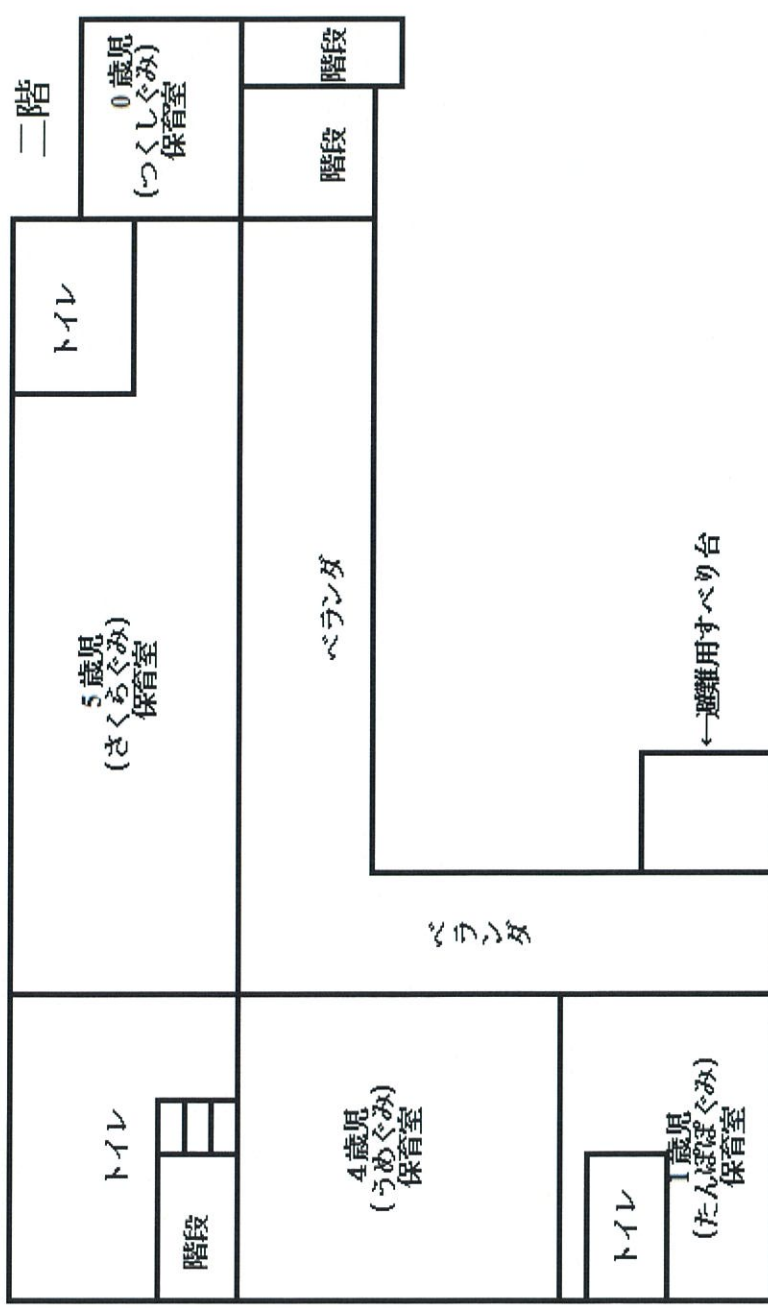
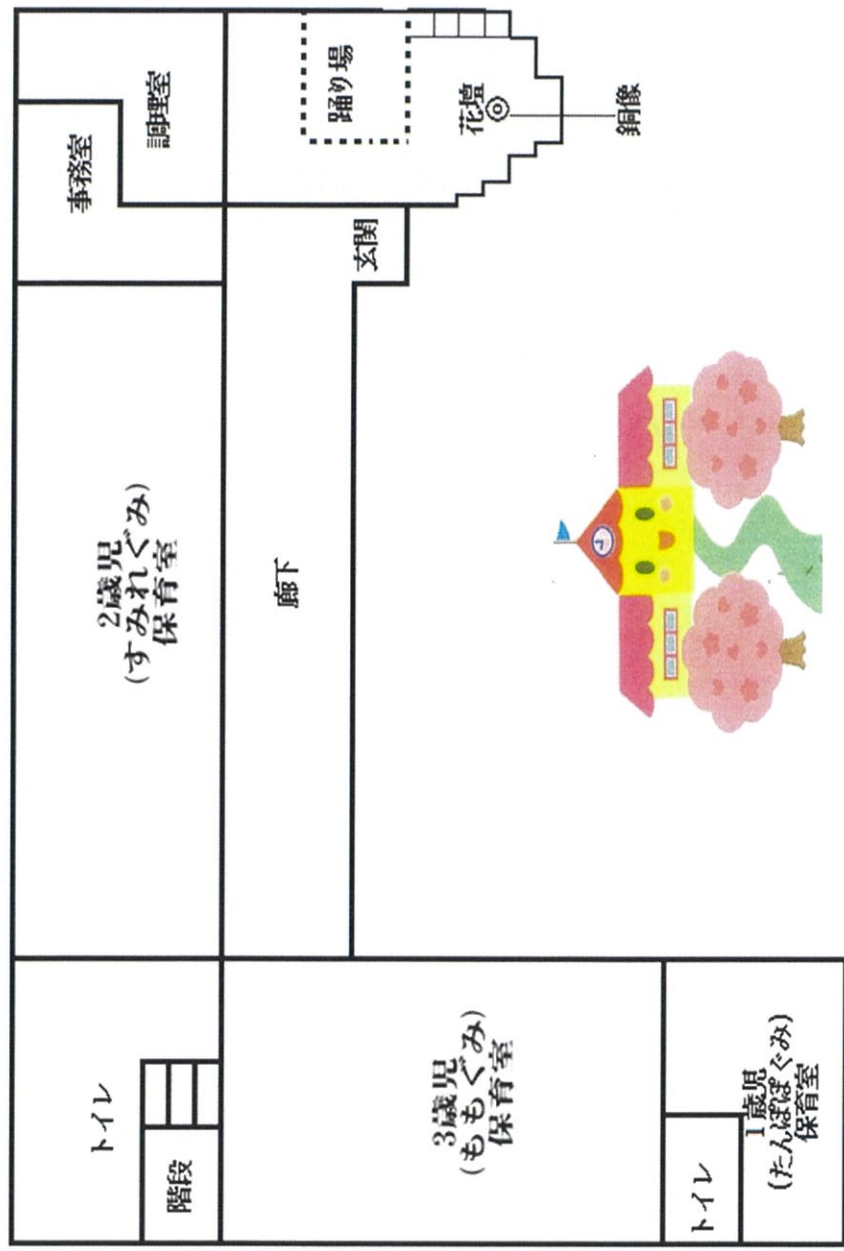
みんな、みんなやさしい若葉の子

若葉、若葉保育園



施設配置図

一階



1. 施設の概要

施設の名称	若葉保育園
設置者	社会福祉法人 財団若葉会
所在地	埼玉県行田市行田11番10号
創設	昭和11(1936)年1月23日
定員	130名→110名(令和6年2月～)
施設の規模	敷地面積 647.07 m ²
および経過	建物延面積 578.85 m ² 鉄筋コンクリート二階建て・一部三階 *平成22年10月園舎耐震診断実施 *平成28年3月園舎改造・改装
設備	各室冷暖房完備 空気清浄機設置(0歳児・1歳児クラス) 夏期・園庭プール特設 乳児用戸外ウッドデッキ 避難専用スベリ台 全室破砕防止強化ガラス、防炎カーテン使用 園児送迎専用駐車場・貸借駐車場(別図a.)

室名	室数
乳児室	1
保育室	6
調理室・厨房	1

室名	室数
事務室	1
保健室兼 教材保管室	1

2.施設の目的

本園は、児童福祉法にもとづく認可保育所で、家庭での保育に欠ける乳幼児を日々保護者に代わって保育する。

3.保育の方針

- ・明るく伸びやかに、健やかに集団生活を過ごせるように、乳幼児期の遊びを通して正しい生活習慣、周りの人たちとの関わり方を養う。
- ・絵本の読み聞かせを通して、お話の聞ける子、想像力豊かな子を育てる。
- ・好奇心旺盛な児童を育む。

4.目標

- ①げんきな子
- ②あかるい子
- ③やさしい子



5.入園対象児

0歳(生後4か月～)から5歳まで



6.入所手続き

所轄市町・子ども未来課(行田市)、または本園へ申し出る。

*市町村により、保育所所轄の部署名は異なる場合があります。



7.入所の決定と保育料

所轄市町(行田市は)子ども未来課で、必要な審査が行われ、入所が決定、認定される。

児童の年齢、扶養義務者の所得税、市町民税等により保育料が決まる。(所轄自治体)

8.特別保育

専門指導員を招いて4・5歳児を対象とし、週1度体操指導および情操保育の一環として和太鼓の指導を行っている。また、扁平足の矯正、足腰を鍛えるために下駄履き保育を行っている。

9.食育(調理・給食)

食育は、保育園生活で基本となる二本柱の一方の支柱。保育と食育をしっかりと両立させてこそ、心身健やかな子育てを目指す。
日ごろより、食品の保存衛生管理と環境整備には十分配慮し、乳幼児の発達成長を促すことを子育ての基本に据えている。
食育を通して、正しい生活習慣と食事の基本マナーを楽しく習得する。

また、好き嫌いのない子を育心の目標の一つ。

最近では、食品アレルギーを持つお子さんも増えているので、キメ細かくクラス担任との連絡・連携を密にする。【☆医師の指示書を必ず提出する】

3歳未満児は主食・副食・おやつ代が保育料に含まれる。3歳児以上は主食代が保育料に含まれないので保護者負担とする。

毎月末に、翌月の給食献立表を作成する。

調理室には食器洗い機、熱湯消毒保管庫、(まな板・包丁)殺菌庫など、調理・衛生備品が完備している。特に、食中毒防止に配慮する。



10. 職員の構成

園長	1名
事務長	1名
保育士	19名
栄養士	1名
調理員	4名
他 保育(療育)補助、事務補助	1名
計	27名

※行田市立忍第二学童保育室職員は含まない。

※令和6年1月現在

11. クラス編成

0歳児クラス	つくしぐみ
1歳児クラス	たんぼぼ①、②くみ
2歳児クラス	すみれぐみ
3歳児クラス	ももぐみ
4歳児クラス	うめぐみ
5歳児クラス	さくらぐみ



12. 保育時間

平日	午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分
土曜日	午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分
*入園当初、慣れるまでは、保育時間が短かい。	
*保護者の勤務時間帯等で希望のある場合は延長保育を行う。	
延長保育時間	午前 7 時 30 分～午前 8 時 30 分
	午後 4 時 30 分～午後 7 時 00 分

※短時間(最大/8時間)・標準時間(11時間)保育で、保育料は区分される。また、延長

保育を希望される場合は、一定の保育料を必要とする。



13. 休園

日曜日・祝祭日

年末年始

※園の事情で、家庭保育をお願いする時期がある。

14. 登降園について

- (1) お子さんの送迎は、保護者の責任のもとに行う。交通ルールを覚える訓練をする
良い機会。また、お子さんとのふれあいの大切な時間でもある。
- (2) 欠席・遅刻をするときは、必ず連絡する。
- (3) オモチャや食べ物は、持たせない。



15.病気・事故について

- (1)持病がある場合は申し出る。(ひきつけ、脱臼、ヘルニア、アレルギーなど)
- (2)伝染性疾病期(ウイルス感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ、はしか、風疹、流行性感冒など))は、医師の治癒証明が出るまで休む。(厚労省の指標は担任にお尋ねください)
- (3)発熱したり、ケガをしたりした場合、緊急に連絡をする必要から、常に連絡先を届けしておく。
- (4)保育園での薬の服用は原則、取り扱わない。

16.服装・履物・持ち物について

- (1)登降園は園指定の園児服・帽子着用、服装は活動しやすいもの、また自分で排せできる服装とする。
- (2)履物は、扁平足にならないためと足腰を鍛えるためにも下駄を、部屋履きとして草履を使用する。

(3)午睡の時期

0歳～3歳 1年中

4歳～5歳 夏の暑い時期(7月～8月)

*敷布団・タオルケット・毛布など

すみれぐみからパジャマ、パジャマ入れを用意。

敷布団は毎週金曜日に持ち帰り、よく干してカバー・タオルケット等必ず洗濯をして清潔にし、翌週に持参する。

- (4)食後は歯磨きをするのでハブラシを持参する。
- (5)すみれぐみ以上は手拭きタオルの中央にひもの輪をつける。
0～1才児はビニールの入れ物と手拭きタオルを用意する。
- (6)持ち物には、すべて名前を記入する。(はっきり、わかるように書く)
- (7)1歳児はトイレトレーニングがあるので、衣服・下着は上下分かれているものを着用する。



17.一日の保育計画（デイリープログラム）

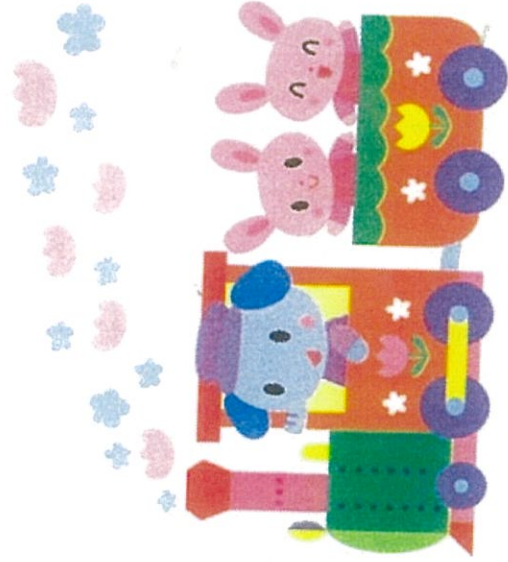
◎3,4,5 歳児

時 間	内 容
8:30	登園 あいさつ 朝の視診 自由遊び
9:30	集合 ラジオ体操 整理体操 行進 下駄マラソン
10:00	朝の式(出欠調べ 生活の歌 その他)
10:30	組別保育
12:00	給食
13:00	休息（絵本の読み聞かせ）
13:30	組別保育
15:30	おやつ 降園準備 帰りの式(絵本・紙芝居等)
16:30	降園
*3歳児は、食事の後、午睡。 15:00目覚め、排泄、着替え、おやつ、紙芝居。	

18.一日の保育計画（デイリープログラム）

◎0,1,2 歳児

時 間	内 容
8:30	登園 あいさつ 朝の視診 連絡ノート 自由遊び
9:30	集合 ラジオ体操 整理体操 行進
10:00	朝の式 出欠調べ おやつ
10:30	組別保育
11:30	給食準備 給食
12:30	午睡準備
13:00	午睡
15:20	おやつ
16:30	降園



19.年間行事予定

4月	入園式 始業式 こどもの日のつどい こいのぼり記念撮影
5月	園外保育 若葉会総会&クラス懇談会
6月	健康診断(内科医師) 歯科検診(歯科医師) 保育参観 午睡開始(うめ、さくら)
7月	七夕祭り記念撮影 セタのつどい プール開き さくらぐみお泊り保育
8月	納涼まつり 家庭保育 午睡終了(うめ、さくら)
9月	お月見のつどい 秋の遠足(うめ、さくら)
10月	運動会 園外保育
11月	健康診断(内科医師)
12月	おゆうぎ発表会 クリスマス記念撮影 クリスマスのつどい 家庭保育
1月	保育参観 餅つき大会
2月	節分 豆まき記念撮影(さくらぐみのみ) 卒園児記念撮影(さくらぐみのみ) 八幡神社節分祭(和太鼓参加/うめ・さくらぐみ)
3月	ひな祭り 記念撮影(さくらぐみ) ひな祭りのつどい お別れ遠足 卒園式

* 年2回程度、歯科衛生士による歯みがき指導がある。

* その他、毎月行うものとして、お誕生会、避難訓練(9月全員引渡し訓練、11月総合避難訓練)、隔月行うものとして身長・体重測定を実施する。

また、朝の体操後、園周辺の下駄マラソンを行う。※納涼祭(8月)、餅つき大会(1月)は保護者会主催。

*おゆうぎ発表会前日は、準備のため午後1時降園。

20.保護者会組織

わかば会と称し、会員は若葉保育園園児・保護者で組織され、園の行事運営に協力していただく。

会長1名・副会長2名・会計2～3名ほか役員若干名



*第一、第二駐車場は借用地

※譲り合いのお気持ちを常に、余裕をもった送迎をお願いします。(数年に一度、事故が発生しております)

(別図 a)

若葉の子 成長のプロセス(クラス名のゆかり)

保育室の各クラス名には、独特の可愛らしい植物名が定着していて地域社会の人達に親しまれている。何れのクラス名も伝統と歴史を刻んでいる。



つくしは、春先に土手にちよこんと顔を出して、もう春が来たよと告げてくれる。春夏秋冬の最初の季節の訪れは、誕生間もない赤ちゃんの健やかな育ちを象徴しているよう。



たんぽぽは、やはり春の代表的な可憐な花で、小さいながら愛しく可愛い。日当たりのよい草地に生え、春は名のみの末だ風の冷たい時期に暖かさに恵まれて元気に成長する花を思う。



すみれは、山野や道端に自生する花。人として漸く独り立ちできる時期の頼もしさが見られる。かつて宝塚歌劇の全盛期に、すみれの花咲く頃、と歌われ多くの人たちから持てはやされて一躍、すみれは世を明るくした。すみれさんは家でも保育園でも周りの人を明るくしてくれる子たちばかり。



ももは、バラ科の植物で春に淡紅、濃紅、白などの重弁花を開いて華やかさを象徴する花。昔から3月初めのもの節句で人になじまれ、親しまれている。保育園では、ももぐみさんは年少組みとして多くの弟妹と兄妹に囲まれながら、沢山のおともだちが出来るのも、ももぐみさんの特権と言える。



うめは、何と言っても晩冬から初春にかけて寒風にさらされながらも凛と咲く一輪の花が心に浮かぶ。うめは、古くから観賞用庭木として珍重され愛される。よく、うめにウグイスのたとえのあるように、よい取り合わせのたとえで、仲のよいおともだちとの間柄にたとえられている。寒さに負けず立派に成長しているうめぐみさんにピッタリ。



さくらは、日本国の象徴の花。そして若葉保育園の顔。弟や妹たちに、見事に咲きました、と誇らしげに振る舞うクラス顔、顔、顔。さくらの花が咲く頃には保育園を元気に巣立って小学校へ入学の時。沢山の思い出を残して、胸に秘めて全ての人を明るく楽しませてくれる。花は桜木、人は武士という言葉からも、桜は最高の花といわれている。

人は皆、いつでも夢と希望をもって固有の花を咲かせようと努力するもの。小さい花、大きな花、どんな花でもいっしょ、それぞれに自分らしい花を咲かせよう。

